

「Challenge & Change」 (第4号)

(チャレンジ アンド チェンジ)

令和7年8月29日 文責 校長 溜渕 知昭

前期後半スタート！

暑い暑い夏休みでした。しかも、お盆前には大雨もあり、玉名地域も全国ニュースで紹介されるほど甚大な被害もありました。みなさんのところは大丈夫でしたでしょうか？学校は、大きな被害はありませんでしたが、雨漏りにより腐食していたため張り替えてもらったばかりの1年1組の天井に再びシミができてしまいました。被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、27日から前期後半がスタートし、再び子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。夏休み中も出勤していましたが、子どもの声が響かない学校に寂しさを感じていたところです。

夏休み明け集会では、私から1つだけ子どもたちにおねがいをしました。それは「あいさつ」です。夏休み前まで、毎日朝から校外で子どもたちを出迎えていましたが、「おはよう」と声をかけてあまり元気なあいさつが返ってこず、寂しい思いをしていました。そこで、あいさつの声が響きあう学校にしたいと子どもたちにお願いをした次第です。「Ⓐ相手より先に、Ⓑいつでもどこでも、Ⓒさわやかに、Ⓓ続けよう」の合言葉であいさつしていくと話しました。すぐに変化はないかもしれません、朝から元気なあいさつで一日をスタートしていきたいと思います！

みんなにがんばってほしいこと

あいさつ

あいさつ いてより先に
つでもどこでも わやかに
づけよう



緑ヶ丘寺子屋、お世話になりました！

8月1日(金)2日(土)に、緑ヶ丘地区協議会主催の第2回緑ヶ丘寺子屋が開催され、延べ70人ほどの子どもたちが参加しました。私は残念ながら両日ともに出張で不在だったため直接様子を見ることはできませんでしたが、地域のみなさまをはじめ、第三中学校の先輩方や有明高専の生徒さんたちに教えていただき、夏休みの宿題もずいぶんはかどったようです。また、本校学校運営協議会の委員でもあり有明高専副校長の坪根様による「ジャイロボール飛ばし」があったり、お菓子のお土産まで準備していただいたりしたようです。子どもたちも大喜びの2日間でした。緑ヶ丘地区協議会のみなさまをはじめ、子どもたちのために指導にきていただいたみなさまありがとうございました！





【緑ヶ丘寺子屋の学習の様子】

今年の夏は戦後80年でした

毎年8月になると報道で戦争についての特集を多く目にします。夏休みも半分を過ぎようとしていた8月6日（広島原爆の日）は子どもがいない静かな学校に勤務していました。朝から草刈りをして、午後パソコン仕事をしていましたが、職員室の窓からグリーンランドの方を見ると、歓声が響いていました。毎日のようにたくさんの方々が暑さに負けずに楽しく過ごしておられます。まさに平和な日本を象徴する一場面です。しかし、世界に目を向けると、ウクライナとロシアの戦争は解決の糸口がつかめないまま継続され、イスラエルとパレスチナの紛争も終わりが見えません。今、この時も命の危機を感じている方々たくさんおられるとともに多くの命が奪われています。広島原爆の日に、6年生の子ども代表が、次のような平和への誓いを読み上げました。

いつかはおとずれる、被爆者のいない世界。同じ過ちを繰り返さないために、多くの人が事実を知る必要があります。（中略）

世界では、今もどこかで戦争が起きています。大切な人を失い、生きることに絶望している人々がたくさんいます。その事実を自分のこととして考え、平和について関心をもつこと。多様性を認め、相手のことを理解しようとしてすること。一人一人が相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合うことができれば、傷つき、悲しい思いをする人がいなくなるはずです。周りの人たちのために、ほんの少し行動することが、いずれ世界の平和につながるのではないかでしょうか。

One voice.

たとえ一つの声でも、学んだ事実に思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができるはずです。大人だけでなく、こどもである私たちも平和のために行動することができます。あの日の出来事を、ヒロシマの歴史を、二度と繰り返さないために、私たちが、被爆者の方々の思いを語り継ぎ、一人一人の声を紡ぎながら、平和を創り上げていきます。

令和7年(2025年)8月6日 こども代表

平和な世の中を創るために私たち大人にできることは何だろう、まずは身近にいる人を大切にすることから始めていこうと考えさせられる宣言でした。

『9月の行事予定』

9月21日（日）PTA 親子美化作業

9月25日（木）～26日（金）5年生集団宿泊教室

9月29日（月）・30日（火）4時間授業※給食あり